

# 三中大より

令和5年3月24日（金）

大田区立大森第三中学校

校長 笛木 啓介

令和4年度第14号

大田区中央4-12-8

去る3月17日（金）に、第74回卒業証書授与式を挙行し、167名の卒業生が本校を巣立ちました。今年の卒業生は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月の入学式が6月にずれこみ、登校が再開されても、分散登校となって互いが顔を合わせて中学校生活がスタートするのは7月と、変則的な船出となりました。4月に教科書が配付されても授業は始められず、課題をもとに自宅で学習、待機という状態での中学校生活の始まりに、忸怩たる思いをした生徒もいたことでしょう。さらに、移動教室も実施できず、学年としての一体感を味わう機会になかなか恵まれな一年でした。2年生になると、行事は徐々に再開されはじめ、年間計画に沿いほぼ予定通り実施することができました。それでも、運動会では参観者が制限されたり、職場体験の内容が縮小されたりと内容面での影響はありました。また、この年にはタブレットが生徒一人ひとりに配布されました。2学期のスタートでは、授業のリモート配信が開始され、自宅と学校がオンラインで結ばれました。9月早々に、職場訪問のガイダンスをオンラインで実施したのが印象に残っています。3年生になると、運動会や授業公開など保護者の

方にも参観していただき、生徒たちの活動に熱い声援を送っていただくことができるようになるなど、コロナ禍以前の状況に戻りつつあるように、変わっていきました。合唱コンクールでは、在校生がリモートで見守るなか、最上級生として立派な姿を見せてくれました。そして、その圧倒的なハーモニーをぜひ直接に後輩に伝えたいと、学年リハーサル場で1、2年生に参観する機会を作り、3年生の姿を見せて、大森三中の最上級生の姿を示すことができました。これまでと同様に、卒業生たちは大森第三中学校の伝統を後輩へ引き継ぎ役目を果たすことができました。

思い返せば、3年前に、変則的なスタートを切ったときに、こうした変化の激しい状況を予想できていたでしょうか。学校生活を、日々一歩ずつ着実に進めたことで、こうした変化に対応することができたと思います。そして、その大きな変容に対して即応して乗り越えてきたことは、生徒が大きな成長する機会となりました。これは、卒業生だけではなく、1年生も2年生も同じです。過去の自分を振り返り、その軌跡から自己の成長を感じ取り、自分自身の成長に自信をもつことは、自分の良さを認めることにつながります。

学校は、年度が変わり、一年間をまとめ次の年度へのスタートを切るための時期となります。この時期に生徒たちには、この一年間の成長を自覚し、次年度への目標を考えてほしいと思います。地域、保護者のみなさま、この一年間の大森第三中学校の教育活動にご理解とご支援を賜りまして、大変ありがとうございました。次年度もどうぞよろしくお願いいたします。



スクールカウンセラー出勤予定日については、次年度にご紹介します。

※ 大森三中 相談室直通電話（3773）7831

## 4月の行事予定

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土
	昭和の日	区学習効果測定	内科検診(1・2年)	職員会議		中央委員会			全校保護者会 午後	専門委員会・内科検診(2・3年)	小中一貫教育の日	学力状況調査(3年)				避難訓練			給食始 定期健康診断始	午前授業 給食なし			第77回入学式	始業式	春季休業日終				

## 一人1台タブレット端末をはじめとする情報技術の適切な利用に向けて

大田区教育委員会

- 1 一人1台タブレット端末をはじめとする情報技術のよき使い手として、コンピュータやネットワークを使って、毎日の生活や学びに役立てましょう。生活のなかでコンピュータを賢く役立てることが、学びをいっそう豊かにすることにつながります。
- 2 一人1台タブレット端末をはじめとする情報技術の特性を理解し、①安全に ②責任をもって ③互いを尊重する使い方を身に付けましょう。
- 3 学校で配付された自分のアカウントやタブレット端末は、責任をもって管理しましょう。そして、パスワードは個人の情報を守るための鍵の役割を果たします。中学生は生徒自身が適切に管理することを強く期待されています。また、学校で使う道具であることを日常的に意識しましょう。
- 4 違法なまたは不適切な使用を避けるため、学校で配付されたアカウントやタブレット端末を使ったコンピュータの活動は「いつ」「だれが」「何を」したか、学校で全て確認できるようになっていることを理解しましょう。  
学校で配付されたアカウントやタブレット端末を使ったコンピュータの活動は、教育委員会で全ての履歴を記録しています。自身のデジタル上の足跡を意識し、正しい使い方やメディア利用のバランスを考えて使用しましょう。
- 5 不適切な使い方をしたときは、コンピュータやネットワークの利用が制限され、連絡や学習活動にも影響が及ぶことを理解しましょう。  
不適切な使い方によって、利用が制限されたりアカウントを停止されたりすると、学習の課題提出や応答にも重大な支障が生じる可能性があります。
- 6 コンピュータに故障や破損が生じたとき、または、何か心配なことや困ったことが起こったとき、自分では判断ができないときは、すぐに保護者や先生に相談しましょう。  
大切に扱っていても、故障や破損は起こります。機器の不調や破損が起こったときは一人で抱え込まず、保護者や教員に相談して適切な解決が得られるようにしましょう。
- 7 日常生活における適切なメディア利用のバランスについて考え、自身の健康を保ちましょう。適切なメディア利用のバランスを考え、振り返りをし、心身の健康を保つのは自分自身です。①使ってはいけない時間を家族と約束する、②自分の置かれた状況でメディア利用の優先順位を決める、ことでメリハリをつけた使い方をしましょう。

### ★保護者の皆様へ

お子様の健全な育成のため、家庭においてもコンピュータの扱いやネットワーク活動について適切な監督と関与が求められることを御理解いただきようお願いいたします。何か心配なことがございましたら、御相談願います。

## 学年末・学年始めの生活について

生活指導主任

令和4年度もまもなく終わります。様々な学校生活の中で、生徒の大きな成長を感じることができました。学年末・学年始めは、自分自身の努力や成長を振り返るとともに、新しい学年に向けて新年度を迎える準備をするために重要な時期です。しかし、感染症対策が長期化し、今後の見通しがもちづらい状況下において、漠然とした不安や深刻な悩みを抱える生徒の増加が心配されます。学校では、折に触れて「不安や悩みを抱えたときに、身近にいる信頼できる大人に相談することの大切さ」について指導を行っております。また、生徒の心を育むためには、生徒が自らの可能性に気付くことが何よりも大切です。学校では子どもたち一人ひとりの良さや成長を見つけて伝えるなど、自己肯定感を高めるよう努めております。この春休み、ご家庭でのコミュニケーションの充実をお図りいただき、お子様の心身の変化に目を向けていただければと思います。

また、お子様に少しでも気になる様子が見られる場合は学校や相談機関に相談をお願いいたします。外部の相談機関の連絡先が記載された資料を春休み前に生徒に配布いたします。ぜひご活用ください。学校・家庭・地域で連携し、子どもが安心して相談できる環境の構築を行っていきたく思います。ご協力よろしくお願い申し上げます。加えて、事故やトラブルに巻き込まれないように、外出の際には行先・目的・同行者・帰宅時間を必ず確認し、夜間の外出は極力避けるなど、防犯意識も高めていただければと思います。充実した春休みを過ごし、4月には三中生が希望と意欲をもって新年度を迎えられることを願っています。



卒業生を見送るように、桜も開花しました。新年度もどうぞよろしくお願いいたします。